

地域アセスメント	1年・前期	2単位 30時間	講師 田村 香奈
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210591

1. 授業のねらい・概要

本科目は学生が人々の健康を支えるために、人々の暮らしや地域を知り、暮らしや地域をとらえることの意味を理解し、看護にいかす考え方を習得することを授業のねらいとする。看護の対象を、日々の暮らしを営んでいる生活者として理解し、その暮らしと健康の関係について考察する。また、地域アセスメントの方法を修得し、地域は様々な特徴を持つことを学び、地域の捉え方を理解する。そして、健康で安全な人々の暮らしは、地域の特性に大きな影響を受けていることを理解する。地域の理解は、保健医療福祉をはじめとする様々な分野で重要視されていることから、地域アセスメントを学ぶ必要性について理解する。

2. 学修の到達目標

1. 地域の中での人々の暮らしと健康について、個々の健康の価値観から想起することができる。
(D-1)
2. 暮らしの多様性について、他者との暮らしの共有から述べるすることができる。(D-1)
3. 健康を守るための看護の基盤について、人々の暮らしの理解することの重要性から述べるすることができる。(D-2)
4. 健康について、健康観・健康格差・国際生活機能分類・QOLに基づき解釈することができる。
(D-2)
5. 健康信念や疾病行動について、文化や民族性の影響から述べるすることができる。(D-1)
6. 暮らしの中の生きがいや役割について、社会集団からの影響を述べることができる。(D-1)
7. 暮らしにおけるリスクの種類について、発生頻度や季節、日常生活への影響度から分類することができる。(D-1)
8. 災害への備えの必要性について、過去の自然災害の経験や災害が暮らしに与える影響と結びつけることができる。(D-1)
9. 地域アセスメントについて、コミュニティ・アズ・パートナーモデルの枠組みに説明することができる。(D-2)
10. 地域アセスメントを学ぶ必要性について、自身及び他者のプレゼンテーションの学びから述べる
ことができる。(D-2)

3. 授業の進め方

本科目は、地域で生活する人々の暮らしや地域を理解するため、アクティブ・ラーニングやICTを活用して学習する。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニング実施有：アクティブ・ラーニングとして、プロジェクト学習の手法を用い、学生自身がリサーチした内容についてグループワークを通して共有し、プレゼンテーションを行う。

【ICT 活用の有無】

ICT 活用の実施有：Google Classroom を用いて、事前課題及びプレゼンテーション課題の提示、リサ

一斉内容の共有，講義資料の共有，課題の提出を行う。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	地域の中での人々の暮らしと健康・看護	講義 演習	予習：テキスト pp15-20 を読む。 復習：人々の暮らしの理解が，健康を守るための看護の基盤であることについて学びをまとめる。	田村香奈
2	人々の暮らしの理解（1） 暮らしとは	講義 演習	予習：テキスト pp22-32 を読む。自分の暮らしの平日と休日の1日を振り返る。 復習：他者の暮らしの共有から，暮らしの多様性についてまとめる。	田村
3	人々の暮らしの理解（2） 暮らしの歴史や文化	講義 演習	予習：自己の暮らしに影響した歴史や文化を調べる。 復習：歴史や文化の理解力を備えた医療従事者の姿勢の重要性についてまとめる。	田村
4	人々の暮らしの理解（3） 健康な暮らしとは：個人	講義 演習	予習：生活習慣と生活動作が暮らしと心身の健康に与える影響をまとめる。 復習：個人の健康観・健康格差・国際生活機能分類・QOLから健康についてまとめる。	田村
5	人々の暮らしの理解（4） 健康な暮らしとは：社会集団	講義 演習	予習：自己が所属した社会集団を暮らしの中から想起する。 復習：社会集団が，暮らしの中の生きがいや役割をもたらすことについてまとめる。	田村
6	人々の暮らしの理解（5） 暮らしにおけるリスク	講義 演習	予習：暮らしにおけるリスクの種類についてまとめる。 復習：安全に暮らし続けるための支援について，看護師の役割をまとめる。	田村
7	人々の暮らしの理解（6） 暮らしにおける災害対策	講義 演習	予習：災害が暮らしに与える影響をまとめる。 復習：災害サイクルに基づく看護師の役割をまとめる。	田村
8	地域の理解（1） 地域とは	講義 演習	予習：テキスト pp33～35 を読む。 復習：地域の定義と多様性についてまとめる。	田村
9	地域の理解（2） 地域のアセスメントモデルの活用	講義 演習	予習：テキスト pp35～39 を読む。地域のアセスメントの方法を調べる。 復習：コミュニティ・アズ・パートナー	田村

			一モデルの概要についてまとめる。	
10	地域の理解 (3) 地域のコア (歴史・人口統計・民族性・価値観と信念) の理解	講義 演習	予習: 担当地域のコアを調べる。 復習: 担当地域のコアについてまとめる。	田村
11	地域の理解 (4) 地域のサブシステム① (物理的環境・安全と交通・地域経済・情報) の理解	講義 演習	予習: 担当地域のサブシステム①を調べる。 復習: 担当地域のサブシステム①についてまとめる。	田村
12	地域の理解 (5) 地域のサブシステム② (教育・政治と行政・保健医療と社会福祉・レクリエーション) の理解	講義 演習	予習: 担当地域のサブシステム②を調べる。 復習: 担当地域のサブシステム②についてまとめる。	田村
13	地域の理解 (6) 地域のアセスメントの演習①	講義 演習	予習: テキスト pp39~45 を読む。担当地域のアセスメント結果をスライドにまとめる。 復習: 他者のアセスメントによる学びをまとめる。	田村
14	地域の理解 (7) 地域のアセスメントの演習②	講義 演習	予習: 担当地域のアセスメント結果の発表準備をする。 復習: 他者のアセスメントによる学びをまとめる。	田村
15	地域の理解 (8) 地域のアセスメントの演習③	講義 演習	予習: 発表後, 他者の意見を基にスライドを加筆・修正する。 復習: 地域アセスメントを学ぶ必要性について, 学びをまとめる。	田村

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 (受験資格は 3 分の 2 以上の出席をした者) 50%, 演習への取り組み 30%, 課題提出 20% で総合的に評価する。定期試験および課題レポートの取り組みの合格基準は, 60% に満たない場合, 単位認定できない。

定期試験の方法や出題内容については講義内で事前に告知する。

課題レポートのテーマ等詳細は, 事前に講義内で告知する。

評価対象の課題は, 達成状況をルーブリック評価表に基づき評価する。

プレゼンテーションは, 使用媒体の工夫・口頭発表の技術 (パフォーマンス) について学生同士の他者評価および教員がルーブリック評価表に基づき評価を行い, 整合性を考慮した採点を行う。

ルーブリック評価表は講義内で説明する。定期試験の出題範囲および出題方法等は事前に書面で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト: 石田千絵他: ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア (第 8 版), メディカ出版, 2025.

参考文献: 1) 佐伯和子: 地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド (第 3 版), 医歯薬

出版，2025.

- 2) 河原加代子他：系統看護学講座専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤（第6版），医学書院，2022.

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの授業計画の範囲について，1時間以上の予習・復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

欠席した場合は欠席届をすみやかに担当教員研究室前ボックスもしくは直接教員に提出すること。

（欠席届用紙は教学課にある）

地区踏査実習の先修科目である。本科目の理解が地区踏査実習に連動するため，教科書や配布資料をよく読みこんでおくこと。不明な点は担当教員に確認すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

リアクションペーパー及び課題の解説は授業時間内に行う。定期試験後に試験結果の傾向及び解答解説の機会を設ける。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

大学病院及び訪問看護ステーションの医療機関における看護師としての実務経験，看護基礎教育及び看護継続教育での講義・演習・実習指導経験を生かして指導を行う。